



日本土地建物初の太陽光発電事業 「小牧太陽光発電プロジェクト」の着手について

日本土地建物（株）（千代田区霞が関 1-4-1 代表取締役社長 吉田卓郎）は、愛知県小牧市で大規模太陽光発電事業に着手いたしましたので、お知らせいたします。

計画は、当社所有の物流センターの屋根に出力 830 キロワット級の太陽光発電パネルを設置するもので、今年度の稼働を目指しております。発電した電気は中部電力に全量売電する計画で、年間予想発電量は 93.5 万 kwh となる見通しで、これは、一般家庭約 270 軒分の電力量となります。【着工：24 年 11 月 竣工：25 年 2 月予定】

□計画の経緯

計画施設は、当社が所有する DRE 小牧センターの物流施設 2 号棟と 3 号棟の屋根面。同施設は、マテリアル・ハンドリング会社のリーディングカンパニーである(株)ダイフクの土地に、当社が物流施設を建設のうえ保有賃貸しているもので、(株)ダイフクビジネスサービスのマスターリースにより、2 号棟はハウス物流サービス(株)、3 号棟には(株)日伝にご入居いただいております。

本年 7 月 1 日、再生可能エネルギーの全量固定価格買い取り制度（FIT）が開始され、国内の発電電力量のうち、太陽光発電をはじめとした再生可能エネルギーの比率が高まることが期待されています。こうした中、当社としても創エネ事業に取り組むべく、保有物件の中から、立地・規模・構造などの諸条件において最も適した物件として、同施設を選定し、関係各社からの協力を経て着手したものです。

□計画の意義

① 保有不動産の有効活用

当社は、成長戦略の一つとして再生可能エネルギーへの取り組みを強化する方針であり、今般の太陽光発電事業はその一環となります。保有不動産の有効活用の一手法として、新たに事業として取り組みます。また、本件事業により得たノウハウを、CRE ソリューションツールとして活用して行きたいと考えております。

② 環境への配慮

再生可能エネルギーを拡大するという政府の意向もあり、不動産デベロッパーの社会的責務の一つとして太陽光発電事業に取り組みます。再生可能エネルギーによる創エネ事業に取り組むことは、CSR の観点からも大切なことと考えております。

尚、当社はこれまでもビルへの太陽光発電設置に取り組んでおり、2013 年秋に、“環境フラッグシップビル”として竣工を予定している「日土地虎ノ門ビル（港区虎ノ門）」の屋上に太陽光発電設備を、また、2010 年に竣工した「日土地御徒町ビル（台東区台東）」でも窓に、洞爺湖サミットで使用した太陽光パネルをリユースして設置しております。

□計画概要

【事業概要】

設置建物	愛知県小牧市小牧原4丁目 103, 111	
事業主	日本土地建物株式会社	
建物所有者	日本土地建物株式会社	
施工	NTTファシリティーズ株式会社	
事業対象	2号棟	3号棟
屋根面積	8,150 m ²	3,900 m ²
出力規模	489kw	345kw
年間予想発電量	約 93.5 万kwh 一般家庭約 270 世帯分	
運転開始	2013年2月(予定)	
事業期間	20年間	

□航空写真

【航空写真】



【お問い合わせ】
 日本土地建物株式会社
 経営統括部 広報室(原)
 TEL03-3501-6906 FAX03-3506-8940